

◎学校教育目標（目指す学校の姿）

だれもが楽しみ、意欲的に学び合う 七条小学校
～学びふかまる 心つながる 自信あふれる 未来ひらく～

① 目指す子ども像

1. 夢中で学び、笑顔があふれる子ども
 - 授業も行事も楽しむ喜びから主体性を育む。
2. 仲間と共に考え、共に成長する子ども
 - 協働しながら学び、互いの力を高め合う姿勢を育む。
3. どんな自分も周りも大切にしている子ども
 - どんな自分もどんな周りの人も認め合える心を育む。
4. 未来に向かい、自信を持って挑戦する子ども
 - 根拠ある自信を持ち、自ら未来を切り拓こうとする行動を育む。



② 目指す教職員像

1. 授業を磨き、子どもたちの笑顔を引き出す笑顔の教職員
 - 授業・遊び・行事を通じて、子どもたちが笑顔になる瞬間を大切にする。
2. 仲間と協働し、お互いを尊重し合う誠実な教職員
 - 子ども・保護者・教職員同士・地域と誠実に関わり、信頼関係を築く。
3. 一人ひとりを大切に、ていねいに寄り添うあたたかい教職員
 - 安心できる場をつくり、多様な子どもたちに誠実にていねいに応える。
4. 未来を見据え、自ら学び続ける向上心あふれる教職員
 - 誠実に学び、大胆かつ柔軟な心で時代の変化に対応する姿勢を持つ。



○学びふかまる

～研究を核とし、言語活動、対話を通して、主体的な学びを深化させる授業づくり～

話す・聞く力をもとに、対話によって主体的に学び合う授業を進める。言語活動を中心に据え、単元を通じた「わかる・できる・楽しい」を確かな学びにつなげる。単元構想とカリキュラム・マネジメントを精選し、学年を越えて資質・能力が積み上がる授業文化をつくる。



○心つながる

～安心して過ごせる関係・集団づくりと、人権を大切にする学校文化の醸成～

誰一人取り残さないという人権教育を基盤とし、どんな自分も人も大切に、互いを認め合い尊重する姿勢を組織的に育み、一人一人が「心の居場所がある」「大切にされている」という実感を醸成する。支援体制を整え、家庭、地域と共に学年を越えたつながりを広げ、安心感のある学校文化を醸成する。



○自信あふれる

～成功体験と成長実感を通し、自己肯定感と挑戦する意欲を育む～

「できる」を実感できる場面を積み重ね、仲間と共に成長につながる経験の機会を増やし、自己肯定感と自己有用感を醸成するとともに、根拠ある自信をもつ子どもを育成する。教科学習や特別活動での役割や協働の機会を充実させ、自分や集団の良さに気づき、間違いや失敗を恐れず挑戦する姿勢を育む。

○未来ひらく

～人とのつながりを通してよりよい自分をめざし、未来を切り拓く力を育てる～

人々との交流を通して視野を広げ、社会とつながる実感をもてるようにするとともに、多様な価値観に触れ、自分の言動を見つめて改善する機会を増やし、「なりたい自分」に近づこうとする姿勢を支えることで、学びが未来につながることを実感し、自ら未来を切り拓く子どもを育成する。



○子どもの学びを支える組織力

～教職員の言動そのものが教育である～

全教職員が、すべての子どもたちを誠実に、愛情を持ち育て、誰一人取り残さないという大原則のもと、学校経営の主体者として細かくていねいな情報共有やコミュニケーションを図り、自己研鑽、自己変革に努めるとともに、お互いをリスペクトしながら子どもの学びを支える学校の土台を強化する。

<学校経営方針構想図>

